

## 令和4年度 第2回苫小牧市防犯のまちづくり懇話会 事前アンケート（質問・意見・要望事項）について

### 1 挨拶運動を推進しよう

昨年、作家であり高野山の僧侶でもある家田荘子先生の講演の中で、挨拶の大切さを今更ながら学んだ。

「挨拶の多い街はきれいである。そして人と人との繋がりが強く、きれいな街には、犯罪の抑止力がある」との先生の言葉からそのような事を連想し、市内小中学校では、既に挨拶運動を推進実行して成果を上げていることから、ぜひそれを苫小牧市全体に広めることができたらと考える。

### 回 答

地域の皆さんが挨拶で声を掛け合うことで近隣住民を知り、結果として不審者を不審者として認識できる効果につながることに加え、子どもを地域ぐるみで見守り、育てるという気持ちが醸成され地域のきずなも深まるものと考えております。

犯罪を生まない・作らない地域づくりには、警察がパトロールなどの活動を強化するだけでなく、地域の方が周囲に対して無関心であったり、不審者の存在を見て見ぬふりをするなど、地域社会の犯罪を防止する力を低下させないことが重要と考えております。

市民一人ひとりが「地域の安全は地域が守る」という意識を持ち、安全で安心して暮らせる地域を実現させる方策の一つとして、「ながら見守りタイ！」を実施し、活動中に挨拶など声掛けをお願いしておりますが、引き続き、地域における防犯について支援、啓発活動に努めてまいりたいと考えております。

## 2 苫小牧市における特殊詐欺の実態について

- ① 令和元年から令和5年2月までの状況について。
- ② 特殊詐欺にあわないための取組の現状と課題は。

### 回 答

#### ① 苫小牧市における特殊詐欺被害件数と金額

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
件数（件）	7	8	3	1
金額（千円）	9,310	12,700	2,750	4,000

- ② 犯行の手口や被害を防ぐための方策については、「防犯だより」や市ホームページに犯罪発生状況や不審電話があった際の対応等を掲載し、Facebook やLINEを活用し警戒情報を発信するほか、デジタルサイネージを活用した啓発動画の放送などで注意を呼び掛けております。

さらに、老人クラブなどに職員が訪問する出前講座では、わかりやすい講座内容とするため、実際の特殊詐欺の音声を聞いていただくなど工夫しながら実施しております。

特殊詐欺の被害者は主として高齢者であり、言葉巧みに不安感をあおり、または、良心に付け込み、正常な判断ができない状態にして多額の金銭をだまし取ります。

苫小牧市の被害件数は減少傾向にありますが、全国・全道は増加しており、広域的な犯罪であるため、今後も関係機関と連携して特殊詐欺被害の未然防止に取り組んでまいります。

### 3 道路における安全対策

町内会における防犯灯の設置と管理について。

#### 回 答

町内会が設置する防犯灯は、生活道路（道路幅員概ね10m未満）において、夜間における交通安全の確保及び治安の維持を図ることを目的に設置しており、防犯灯の定期的な点検・管理は、日常の町内会活動において、確認をしていただいております。

なお、設置する町内会等に対して、防犯灯の整備費用の一部を市が補助しており、電気料金につきましては、市で全額補助しております。

### 4 学校等における子どもの安全対策

- ① 学校への不審者侵入防止のためのオートロック鍵等の設置状況と効果の検証について。
- ② 幼稚園・保育園等への設置の必要性について。

#### 回 答

① 学校内への不審者の立ち入り防止策として、市内全校の来客用玄関にオートロック鍵設置を完了しております。

また、改築・改修事業を実施した学校については、防犯カメラを整備することにより不審者の立ち入りなどに対する抑止策を強化しています。

効果の検証につきましては、職員がインターホン越しに来校者を確認することで、無許可で学校内に立ち入ることが出来ないことから、防犯対策として効果が期待できると伺っております。

② 幼稚園、保育園等への設置の必要性につきましては、学校同様不審者対策として有効であり、オートロックにしておくことで施錠を忘れることがなく不審者に侵入されにくくなる効果、また園児の飛び出し防止策にも有効と伺っております。

市内の幼稚園、保育園等51か所について確認したところ、約9割が既に設置または設置を検討しており、そのほか、未設置においても警備会社と契約し防犯対策を講じていると伺っております。

## 5 歩道の整備・公園への時計の設置・防犯ブザーの推進について

苫小牧青年会議所の子育て世代へのヒアリングにおいて、様々な意見をいただいた中で、「道路がボコボコしている」・「公園に時計がない」という意見に関しては、場所を問わず検討しても良いのではないかと感じた。

どの事例も夜の歩道で、道路状況に関しては、逃げている最中に転びそうになったと聞いた事があり車道というよりは、歩道の整備の検討も必要ではないか、また遊びに夢中になった子どもたちに、人通りが少なくなる時間に気付くような効果が見込まれるのであれば、公園に時計の必要性があるのかと。

さらに、防犯ブザーは効果があると考えており、もっと実用化されるべきで、子ども全員が所持しても良いのではないかとまで思う。

そのため、推進運動を行うのはどうか。防犯ブザーの配布となると高額な予算がかかることから、募金活動などを行ったとしても難しく、現実的ではないと考える。

仮に、補助などを考え配布することとしても、親に主導権を持たせるのではなく、学校にて配布し、取扱いを学ぶような時間を設ける方が、効果があると考え。実際に使用するのは子どもであり、使用方法や場面が、子どもたち本人に理解されていなければならないが、多くが取り組むことにより犯罪を防止することにもつながるのではないかと。

身に付けることの判断も親に委ねる部分ではないと思う。未然に防ぐ大切さを理解している大人からの推奨が必要だと考える。経験したからこそ重大性を感じることは事実だが、犯罪を起ささないことに繋げるために、防ぐことが大切。

### 回 答

歩道の整備につきましては、都市建設部維持課に確認をしたところ、道路パトロールで確認するほか、市民の方々や町内会、各団体等から御報告をいただいた場合には現地調査を行い、劣化状況に応じて順次整備を進めております。

今後も、市民の皆さまに安全で安心な道路環境の保全に努めてまいりますので、御理解の程よろしくお願いいたします。

なお、市道等に関する御意見や不明点などがございましたら、お手数ですが、道路管理事務所（73-5000）まで御連絡をいただけますようお願いいたします。

次に、公園への時計の設置につきましては、都市建設部緑地公園課に確認をしたところ、時計を設置する場所の状況にもよりますが、御相談をお受けし検討しますとの回答をいただいております。

なお、次代を担う青少年の希望のシンボルとして、子どもたちが大きな夢や希望を抱き、健やかにのびのびと成長することの願いを込めて、「希望の鐘」が現在、市内25か所の防災行政無線から、午前8時、午後5時、午後8時に吹鳴しております。

また、防犯ブザーにつきましては、市や北海道警察のホームページや防犯だより等で紹介しておりますが、子どもを犯罪被害から守るには、各御家庭で日頃からお子さんに身の安全を守るため、防犯ブザーなど防犯グッズの使用方法も含め、防犯知識を教える事も大切なことと考えておりますことから、今後も継続して関係機関と連携し多くの市民に広くわかりやすい啓発を行ってまいります。

## 6 防犯対策について

- ① 走りながら、歩きながらのスマホ使用をやめる。
- ② 防犯ブザー等を持ち歩く。
- ③ 夜間の一人歩きをしない。(どうしても一人になるときは、明るい場所で歩く。)
- ④ 地域の防犯活動の実施。

## 回 答

犯罪を防止するためには、市民一人ひとりが「自分の安全は自分で守る」という考えに立ち、委員御指摘の行動を実践していただくとともに「地域の安全は地域で守る」という意識を持ち、地域ぐるみの防犯活動に取り組んでいただくことが重要であると考えております。

また、今後も「ながらスマホ」の危険性や一人歩きを控え、暗い場所を避ける、車での送迎やタクシーの利用を検討するなど、犯罪に繋がりがやすい行動に注意するよう啓発活動を実施し、引き続き広く市民に御理解いただけるよう地域防犯活動支援も含め、進めてまいります。